



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2015年2月23日

公立大学法人大阪市立大学広報室

Email : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学医学部附属病院

広域災害発生時の患者受入訓練を実施します

大阪市立大学医学部附属病院は、平成27年3月5日（木）に広域災害発生を想定した患者受入訓練を実施します。今年度の訓練は、改訂を行った災害対策マニュアルの検証と同時に、新たに導入する電子トリアージ支援システム（3Spiders[®]）を活用して正確かつリアルタイムな患者情報の収集と共有化を体験するとともに、災害拠点病院としての機能向上を図ることを目的としています。

注）3Spiders：東京エレクトロニクスシステムズ(株)による災害対応傷病者情報管理システム。
詳しくは別紙添付資料をご覧ください。

記

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成27年3月5日（木） 15時～17時（受付：14時～14時30分） |
| 場 所 | 大阪市立大学医学部附属病院5階 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 地下鉄「天王寺」駅14番出口、JR「天王寺」駅、近鉄「大阪阿部野橋」駅 下車 徒歩約10分 |
| 参加者 | 医師24名、看護師56名、医療技術職員21名、臨床研修医31名、 医学生（模擬患者役）14名、事務職員15名 【合計161名】 |
| 想 定 | 平日の日勤帯に広域災害が発生。当院内に被害はないが、多数の負傷者が本院に搬送されるものとする。 |

【取材について】

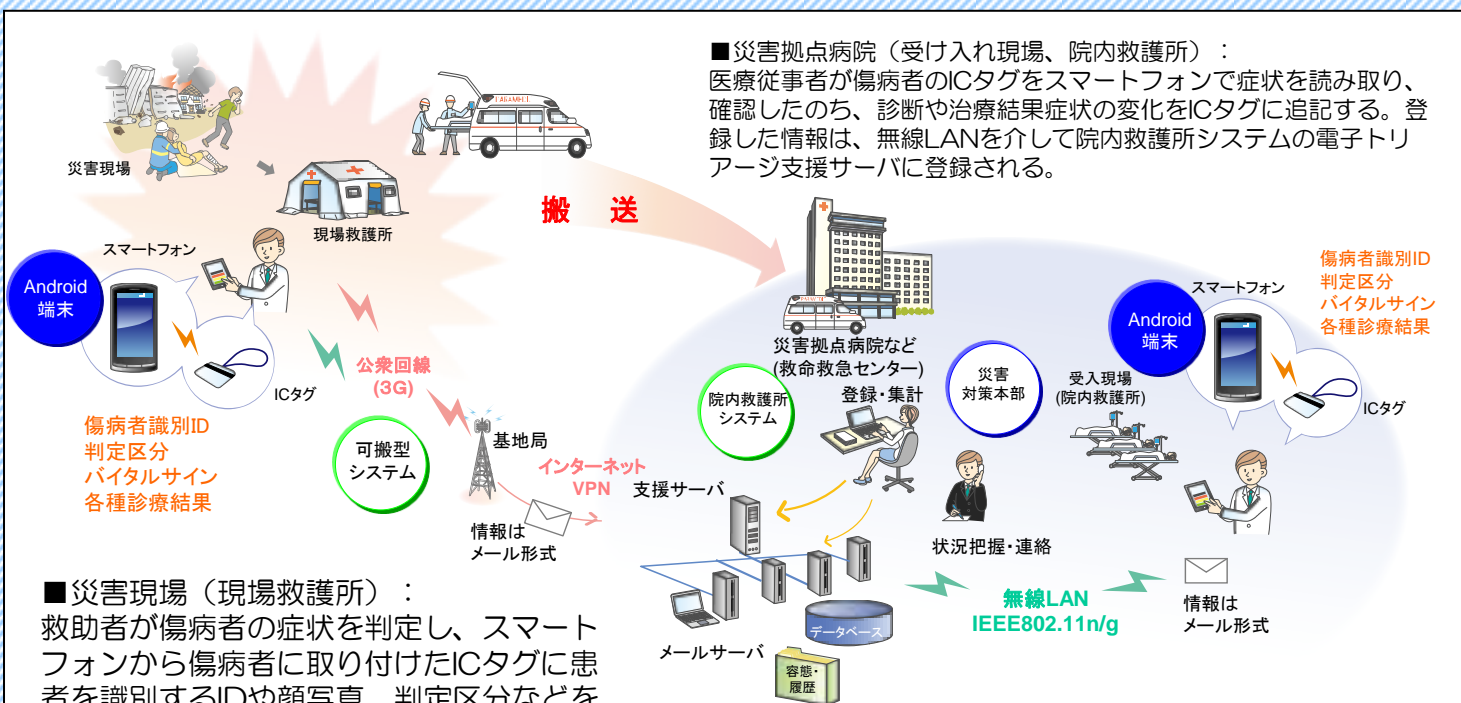
- ・取材受付は、当日14時～14時30分に附属病院5階の講堂前にて行います。
※受付の際にお名刺を頂戴しますので、ご持参いただきますようお願いいたします。
- ・取材に際しては、自社腕章・社員（記者）証を見えやすいところに着用し、病院職員の指示・誘導に従ってください
- ・災害訓練中も院内では通常の診療業務を行っております。患者様、病院スタッフの診療行為等にご配慮いただき、訓練参加者以外の病院スタッフ及び患者様の撮影はご遠慮ください。

【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学医学部附属病院 庶務課庶務担当 担当：寺田・池山
TEL：06-6645-2711 FAX：06-6632-7114
E-mail：t-terada@med.osaka-cu.ac.jp

災害対応傷病者情報管理システム

全体構成



主な機能

- トリアージによる傷病者診断（START法、PAT法、バイタルサインによる評価を支援）
- 診断結果による疑い病名の確定支援
- 傷病者／医療関係者状況の把握（人数・場所など）
- 顔写真による身元不明者の安否確認支援
- 薬剤オーダー、画像検査オーダーなどの診療活動支援
- 血液ガス検査装置からの検査結果自動収集、配信
- 広域搬送判定支援、広域搬送カルテ印刷（DMAT標準帳票に準拠）
- 患者カルテ印刷
- クロノロジー登録・閲覧（動画、音声の添付も可能）
- 自治体、災害拠点施設、関係機関との情報共有
- 現場からのライブ中継（開発中）
- 自治体本部、災害拠点病院、広域搬送拠点（SCU）でのTV会議
- 広域災害救急情報システム（EMIS）との情報連携（将来）

概要説明

本システムは、大規模災害時や緊急時における迅速な医療提供を支援（患者情報の正確かつリアルタイムな情報収集と共有化）することを目的としたシステムです。

スマートフォンに表示するSTART法、PAT法のガイドに沿ってバイタル値の入力を行い、ICタグに書き込みを行うと、サーバにデータが転送され、一覧化及び関係者への情報共有ができる仕組みです。

仮に通信環境が不安定になっても、ICタグの情報を移送先のスマートフォンで読み出す事により、医師に正確な情報を伝える事ができ、災害時においても確実な情報伝達を支援します。正確な診療記録の維持や、傷病者全体に対する最も効果的な治療方針の決定など、広範囲の災害医療活動で適用が可能です。

広域かつ複数の場所で救助・医療活動が必要とされる状況において最もその威力を発揮し、災害初期時の診断・治療だけでなく、災害本部の活動や広域搬送など急性期におけるDMAT（Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム）の活動を支援します。